

東日本大震災

名古屋って、あったかくて
いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

平成30年5月25日発行 (第95号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日 9~17時)
FAX: 052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



もうすぐ6月。梅雨入りも近いですね。夏も近付いています。被災者支援ボラセンでは、夏頃、楽しい企画を考えています。決まり次第お知らせします！もう少しお待ちください。

「なごやか地域福祉2020」策定が始まります



名古屋市では、市民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、5か年計画である、名古屋市地域福祉計画・名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進計画「なごやか地域福祉2015」を策定し、市民の皆さんと一緒に福祉のまちづくりを進めていますが、今年度から2年かけて、今の計画の実施状況や社会情勢、国の動向などを踏まえ、「なごやか地域福祉2020」を策定します。

「名古屋市や名古屋市社協が計画を策定」と言うのが難しい話のようですが、実際は、住民の方が安心して暮らせるように、市政アンケートなどで住民の方からの意見を聞いたり、委員として策定の会議に参加してもらったり・・・と、名古屋の地域の問題を解決する方法を、行政・社協・住民の方達と一緒に考え、実現に向けた取り組みを考えていく、現実を見据えつつも夢のある取り組みだと思えます。

前回のお知らせで紹介した「子ども食堂」のように、名古屋市内でも住民の方やボランティア・NPO団体などが、バラエティに富んだ活動を行っています。身近な場所で、交流の場である「ふれあいいきいきサロン」や、生活の困りごとを相談する窓口づくり、困りごとの担い手を養成するボランティア講座などなど。社会福祉協議会もこのような活動を陰に日向に支援させてもらっています。

各区の5か年計画は、区社会福祉協議会でも現在策定しているところです。ぜひ、ご自分の暮らすまちについて、興味を持ってもらえると嬉しいです。

「なごやか地域福祉」の情報は、公式ホームページをご覧ください。

なごやか地域福祉2015

検索



「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:平成30年6月5日・19日 7月17日(7月は1回のみ)
全て火曜日 10時15分~12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室
(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ
材料費:1回500円~(実費相当)

いずれも、被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

寺子屋 NIT!

名工大の現役大学生による学習支援

日時:平成30年6月11日(月)・22日(金)
7月9日(月)・27日(金)

17時30分~(1時間半程度) 正門前集合

会場:名古屋工業大学
(昭和区御器所町、最寄り駅:鶴舞)

内容:学校の宿題やドリル、テスト範囲の勉強など
筆記用具は各自準備

月2回に
パワーアップ!

